



陶韻クラブ

第5号

第48回市民文化祭



今年の文化祭は11月1日に作品搬入し、2日(土)、3日(日)の二日間行いました。

窯出しの喜怒哀楽

10月20日(日)に本焼きを行いました。5月12日以来5ヶ月ぶりの窯炊きでした。08時に伊藤源吾さん、山本と2人で点火開始しましたが、バーナーの4箇所すべてが点火せず焦りました。調べてみたらタンクに灯油が足りていません。点火前の確認不足でした。そうこうしている間に宮野さん、



二日間とも天候に恵まれ、10時オープンから陶芸会場への客の入りは切れ目なく、沢山の人が来てくれました。1日目は187人、2日目は207人の来場数がありました。今年の出品者はクラブ員13名と市民の森から2名の特別参加でした。出品作品は生活に密着した作品が多く良かったと思います。文化祭の終了後、来年へ向けて次のような意見ができました。

- 1 会場について
壁面が寂しいので、作陶の工程などパネルを展示したらどうか。
- 他のクラブ(裂織など)
- 三津谷さんも来てくれ点火の手伝いしてもらい無事点火しました。その後の燃焼は順調です。



とコラボして一緒に展示する。

2 作品展示について

最初は出品者が少なく寂しい感じがしたが、作品の間隔を空けて展示することにより一つ一つじっくり鑑賞してもらえた。市民の森からの参加者は事前に参加を調整しておく

全般に背の低い作品が多

今回は9名の会員の方が来られて大変にぎやかでした。会話の中で奥様から弘前で行われている魯山人展への見学の提案があり、多数の参加希望があり旅行を計画することとなりました。



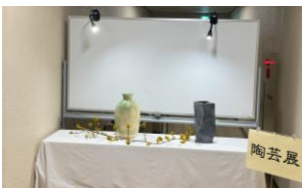
かった。大きさと高さのある作品があれば映えると思う。

3 当番について

来客がいけない間は案内係が休めるように、休憩場所以外の会場内にも椅子をおく。

飲み物の準備をする。(ポットの貸し出しがないため)

また来年も素敵な作品を出品して、多くのお客様を楽しませて下さい。ご苦勞様でした。



窯出しは水曜日以降に行い結果は釉流れもなく良い焼き上がりでした。金曜日に公会堂へ運び講評しました。

今回は黒天目に石灰白萩を吹き付けたものが良い感じにでていました。天摩さんの緑釉の焼も良かったと思います。織部釉は泡が出来てしまいむずかしいです。



魯山人展について

急遽の計画となりましたが今年の研修旅行は弘前市博物館で行われている「北大路魯山人展」見学が中心となります。

日程は11月17日(日)

朝08時に公会堂前を出発予定です。

ただいま細部の内容を検討中です。途中寄りたい所がありましたら、申し出て下さい。

今後の予定

クラブ忘年会を計画します。時期は12月14日(土)または21日(土)を予定します。場所など細部が決まり次第お知らせします。